

入 札 説 明 書

「令和 8 年度国立劇場構内の廃棄物収集運搬・処分業務委託」に係る入札公告に基づく一般競争入札については、関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1. 公告日 令和 7 年 1 2 月 1 9 日

2. 契約担当役等

契約担当役

独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長 長谷川 眞理子

3. 調達概要

- (1) 件 名 令和 8 年度国立劇場構内の廃棄物収集運搬・処分業務委託
- (2) 履行場所 東京都千代田区隼町 4 番 1 号（国立劇場構内）
- (3) 概 要 別紙仕様書のとおり
- (4) 履行期間 令和 8 年 4 月 1 日（水）から令和 9 年 3 月 3 1 日（水）まで

4. 競争参加資格

- (1) 独立行政法人日本芸術文化振興会会計規程第 1 6 条及び第 1 7 条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。
- (2) 独立行政法人日本芸術文化振興会一般競争（指名競争）参加資格において、令和 7 年度の「役務の提供等」における営業品目「建物管理等各種保守管理」で「A」、「B」、「C」又は「D」等級の認定を受けている者であること（会社更生法（平成 1 4 年法律第 1 5 4 号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成 1 1 年法律第 2 2 5 号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後に一般競争参加資格の再認定を受けている者であること。）。なお、全省庁統一資格において当該資格を有する者は、同等級の認定を受けている者とみなす。
- (3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（上記（2）の再認定を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以

下「資料」という。)の提出期限の日から競争執行の時までの期間に、独立行政法人日本芸術文化振興会(以下「振興会」という。)、文部科学省又は文部科学省関係機関から取引停止又は指名停止の処分を受けていないこと。

(5) 入札に参加しようとする者の間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

①資本関係

次のいずれかに該当する二者の場合。

(イ) 子会社等(会社法(平成17年法律第86号)第2条第3号の2に規定する子会社等をいう。以下同じ。)と親会社等(同条第4号の2に規定する親会社等をいう。以下同じ。)の関係にある場合

(ロ) 親会社等を同じくする子会社等同士の関係にある場合

②人的関係

次のいずれかに該当する二者の場合。ただし、(イ)については、会社等(会社法施行規則(平成18年法務省令第12号)第2条第3項第2号に規定する会社等をいう。以下同じ。)の一方が民事再生法(平成11年法律第225号)第2条第4号に規定する再生手続が存続中の会社等又は更生会社(会社更生法(平成14年法律第154号)第2条第7項に規定する更生会社をいう。)である場合を除く。

(イ) 一方の会社等の役員(会社法施行規則第2条第3項第3号に規定する役員のうち、次に掲げる者をいう。以下同じ。)が、他方の会社等の役員を現に兼ねている場合

1) 株式会社の取締役。ただし、次に掲げる者を除く。

(i) 会社法第2条第11号の2に規定する監査等委員会設置会社における監査等委員である取締役

(ii) 会社法第2条第12号に規定する指名委員会等設置会社における取締役

(iii) 会社法第2条第15号に規定する社外取締役

(iv) 会社法第348条第1項に規定する定款に別段の定めがある場合により業務を執行しないこととされている取締役

2) 会社法第402条に規定する指名委員会等設置会社の執行役

3) 会社法第575条第1項に規定する持分会社(合名会社、合資会社又は合同会社をいう。)の社員(同法第590条第1項に規定する定款に別段の定めがある場合により業務を執行しないこととされている社員を除く。)

4) 組合の理事

5) その他業務を執行する者であつて、1)から4)までに掲げる者に準ずる者

- (ロ) 一方の会社等の役員が、他方の会社等の管財人を現に兼ねている場合
 - (ハ) 一方の会社等の管財人が、他方の会社等の管財人を現に兼ねている場合
 - ③その他入札の適正さが阻害されると認められる場合
- 組合とその構成員が同一の入札に参加している場合その他上記①又は②と同視する資本関係又は人的関係があると認められる場合。
- (6) 本件業務を履行するに当たり必要な「産業廃棄物収集運搬業」及び「一般廃棄物収集運搬業」の許可を受けている者であること。
 - (7) 本公告に示した役務の履行が可能なる者であること。なお、本競争の参加希望者は排出事業者の事業場において収集を行う収集運搬業者であることを要件とする。ただし、収集運搬業務の一部及び処分業務は、提携する業者で行うことができるものとし、その場合は当該提携業者によって本件業務の履行が可能であること。
 - (8) 環境マネジメントシステム（ISO14001）又はエコアクション21の認証を取得していること。
 - (9) 東京都、千葉県、埼玉県又は神奈川県内に本店、支店又は営業所が所在すること。
 - (10) 契約担当役が別に指定する反社会的勢力に該当しない旨の誓約書に誓約できる者であること。

5. 担当部課及び担当者

〒102-8656 東京都千代田区隼町4番1号

独立行政法人日本芸術文化振興会 財務部契約課契約係

担当者 本多

電話 050-1754-5981（直通）

6. 競争参加資格の確認等

- (1) 本競争の参加希望者は上記4. に掲げる競争参加資格を有することを証明するため、次に掲げるところに従い、申請書及び資料を提出し、契約担当役から競争参加資格の有無について確認を受けなければならない。

上記4. (2) の認定を受けていない者も次に掲げるところに従い申請書及び資料を提出することができる。この場合において、上記4. (1) 及び(3) から(10) までに掲げる事項を満たしているときは、競争執行時において上記4. (2) に掲げる事項を満たしていることを条件として競争参加資格があることを確認するものとする。当該確認を受けた者が競争に参加するためには、競争執行時において上記4. (2) に掲げる事項を満たしていなければならない。

なお、期限までに申請書及び資料を提出しない者並びに競争参加資格がないと認め

られた者は、本競争に参加することができない。

①提出期間

令和7年12月19日（金）から令和8年2月6日（金）までの、土曜日、日曜日、祝日及び令和7年12月29日（月）から令和8年1月3日（土）までを除く午前10時から午後5時まで。

②提出先

上記5. に同じ。

③提出方法

提出先に持参又は郵送（提出期間内必着、書留郵便等の配達記録が残るものに限る。）すること。

（2）申請書は、別記様式1により作成すること。

（3）資料は、別紙「提出書類について」に従い作成すること。

（4）競争参加資格の確認は、申請書及び資料の提出期限の日をもって行うものとする。

（5）その他

①申請書及び資料の作成及び提出に係る費用は、提出者の負担とする。

②契約担当役は、提出された申請書及び資料を、競争参加資格の確認以外に提出者に無断で使用しない。

③提出された申請書及び資料は、返却しない。

④提出期限以降における申請書又は資料の差し替え及び再提出は認めない。

⑤申請書及び資料に関する問合せ先

上記5. に同じ。

7. 質問について

（1）期 限：令和8年2月5日（木）午後5時

（2）仕様に関する質問は、財務部契約課契約係にて文書（別記様式6）で受け付ける。

電子メール又はFAXにより提出すること。

電子メール keiyakuka-nt@ntj.jac.go.jp

FAX番号 050-3385-3233

なお、提出後5. の担当者に対して電話により到達確認を行うこと。

質問に対する回答は、振興会のホームページ上で公開するので各自確認すること。

8. 競争執行の日時及び場所

（1）日 時：令和8年2月13日（金）午前11時

（2）場 所：東京都千代田区隼町4番1号

※遅刻の場合は、入札に参加できない。

9. 入札方法

- (1) 入札書は必ず封筒に入れ、その表面に入札件名と競争参加者の氏名（法人の場合は商号又は名称）を記し封印すること。
- (2) 入札価格は、仕様書別表「対象廃棄物等及び予定数量」に基づき、種別単価（消費税及び地方消費税を含まない。以下「税抜き」という。）及び業務別単価（税抜き）を算定するものとする。ただし、種別単価（税抜き）は業務別単価（税抜き）の合計とし、業務別単価（税抜き）の算定にあたっては、入札金額内訳書見本（様式例・記載例）を参照すること。

入札価格は、種別単価（税抜き）に契約期間中の予定数量を乗じた金額の総価とするので、入札書には、種別単価（税抜き）に契約期間中の予定数量を乗じた金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）の合計金額を記載すること。

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の 100 分の 10 に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の 110 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。

なお、契約は入札書の内訳書に示された種別単価（税抜き）又は業務別単価（税抜き）で行う。

10. 入札保証金及び契約保証金 免除

11. 入札の無効

- (1) 入札公告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書又は資料に虚偽の記載をした者のした入札、入札者に求められる義務を履行しなかった者のした入札、本入札説明書及び独立行政法人日本芸術文化振興会競争入札参加者注意書において示した条件等入札に関する条件に違反した入札、その他独立行政法人日本芸術文化振興会会計規程実施細則第 16 条第 1 項各号に掲げる入札並びに郵便による入札、電子メールによる入札は無効とし、無効の入札を行った者を落札者としていた場合には落札決定を取り消す。
- (2) 上記 4. (10) の誓約書を提出せず、又は虚偽の誓約をし、若しくは誓約に反する

こととなったときは、当該者の入札を無効とし、落札者としていた場合には落札決定を取り消す。

- (3) 契約担当役により競争参加資格のある旨確認された者であっても、競争執行の時に
おいて上記4. に掲げる資格のない者は競争参加資格のない者に該当する。

1 2. 落札者の決定方法

- (1) 本件の役務を提供できると契約担当役が判断した入札者のうち、独立行政法人日本
芸術文化振興会会計規程実施細則第6条に基づいて作成された予定価格の制限の範囲
内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
- (2) 落札となるべき同価格の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに当該入札をし
た者にくじを引かせて落札者を決定する。この場合において、当該入札をした者のう
ち出席しない者又はくじを引かない者があるときは、入札執行事務に関係のない職員
にこれに代わってくじを引かせ、落札者を決定する。

1 3. 競争入札の延期又は廃止

- (1) 競争参加者が相連合し又は不穏の挙動をする等の場合で競争入札を公正に執行でき
ない状況にあると認めたときは、直ちに公正入札調査委員会を開催し、入札を延期し、
又はこれを廃止する。
- (2) 談合情報があつた場合、振興会は直ちに公正取引委員会へ通報するものとする。
- (3) 本件に関し振興会が入札に参加しようとする者全員に事情聴取を行う場合は、協力
すること。

1 4. 契約書作成の要否

別紙契約書（案）により、仕様書で示す業務ごと（「業務1（産業廃棄物）」、「業務2
（一般廃棄物）」及び「業務3（再資源化可能な古紙類）」）に契約書を作成するものとす
る。

なお、落札者の履行体制により、落札後、契約書の様式は協議を行うものとする。

1 5. 関連情報を入手するための照会窓口

上記5. に同じ。

1 6. その他

- (1) 落札者は、落札決定後速やかに入札金額に対応した内訳書（任意様式 ※「入札金
額内訳書見本（様式例・記載例）」を参照すること）を提出すること。

- (2) 契約の手続きにおいて使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。
- (3) 入札参加者は、別紙独立行政法人日本芸術文化振興会競争入札参加者注意書及び別紙契約書（案）を熟読し、競争入札参加者注意書を遵守すること。
- (4) 申請書及び資料に虚偽の記載をした場合においては、申請書を無効とするとともに独立行政法人日本芸術文化振興会における契約に係る取引停止等の取扱基準（以下「取引停止基準」という。）に基づく取引停止を行うことがある。
- (5) 提出した入札書の引換え、変更、取消しをすることはできないので、十分に確認して入札すること。また、落札決定後、落札者が契約を結ばないときは、原則、取引停止基準に基づく取引停止を行うものとする。
- (6) 会社の登記上の所在地と、入札書及び委任状等に記す現行の所在地が異なる場合、登記上の所在地と現行の所在地が併記されている等、登記上の法人が入札書及び委任状等を提出する法人と同一であることを証明することができる書類の写しを併せて提出すること。
- (7) 入札説明書等を入手した者は、これを本入札手続以外の目的で使用してはならない。
- (8) 「独立行政法人が行う契約に係る情報の公表について」（独立行政法人日本芸術文化振興会HPトップページ＞調達情報）を参照の上、その内容について同意了承すること。（参照：<https://www.ntj.jac.go.jp/about/procurement/info.html>）
- (9) 本入札説明書の別記様式1、別記様式2、別記様式5、内訳書、入札書及び委任状の押印は省略することができる。ただし、その場合、書類上の「本件責任者及び担当者」に氏名及び連絡先を記載すること。
- (10) その他、入札、契約に関する詳細は、「独立行政法人日本芸術文化振興会競争入札参加者注意書」による。

提出書類について
記

1. 競争参加資格を有することを示す書類

- (1) 競争参加資格確認申請書（別記様式1）
- (2) 独立行政法人日本芸術文化振興会一般競争（指名競争）参加資格認定通知書
- (3) 競争参加者における産業廃棄物収集運搬業許可証の写し（※1、2）
- (4) 競争参加者における産業廃棄物処分業許可証の写し（※競争参加者が処分業務の全部又は一部を行う場合のみ）（※1、2）
- (5) 競争参加者における一般廃棄物収集運搬業許可証の写し（※1、2）
- (6) 環境マネジメントシステム（ISO14001）又はエコアクション21登録証の写し（※2）
- (7) 会社案内等の印刷物等（※3）
- (8) 誓約書（別記様式2）

- ※1 排出場所を管轄する東京都知事の許可証の写しを提出すること。
- ※2 申請書の提出期限の日（令和8年2月6日）において、有効期間内であること。
- ※3 東京都、千葉県、埼玉県又は神奈川県に本店、支店又は営業所が所在することが確認できるものであること。

2. 役務の履行が可能であることを示す書類

- (1) 業務体制表（別記様式3－①～③）

- ※ 仕様書に示す業務1（産業廃棄物）の「廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず等、及びそれらの混合廃棄物」及び「水銀使用製品産業廃棄物」について、最終処分までの業務体制を記載すること。なお、本業務体制表に記載された内容に基づき契約書を作成するので、法定の契約書記載事項を漏れなく記載すること。
- ※ 排出事業者の事業場において収集を行う業者は、競争参加者に限る。
- ※ 廃棄物の種類によって、収集運搬業者と処分業者が異なる場合には、それぞれの業者を明記すること。なお、収集運搬業務と処分業務を複数の業者で分担する場合には、全ての業者を記載すること。
- (2) 上記（1）業務体制表に記載した競争参加者以外の業者に係る許可証の写し
- ※ 上記（1）業務体制表に記載した業者のうち、競争参加者以外の業者においても、業

務を履行するうえで必要な全ての許可証（産業廃棄物収集運搬業許可証、産業廃棄物処分業許可証、一般廃棄物収集運搬業許可証 等）の写しを提出すること。なお、仕様書に示す廃棄物を適法に処理することができることを示す許可証であること。

- ※ 競争参加資格確認申請書の提出期限の日（令和 8 年 2 月 6 日）において、有効期間内であること。

（3）連絡体制表（別記様式 4）

- ※ 上記（1）業務体制表に記載した全ての業者に関して、次の事項を一覧に記載すること。

- ①商号又は名称
- ②代表者氏名
- ③本社所在地
- ④連絡窓口となる部署名
- ⑤問合せの対応時間
- ⑥電話番号
- ⑦備考

（4）再委託承認申請書（仕様書に示す業務 3（再資源化可能な古紙類）の一部を再委託する場合）（別記様式 5）（※）

- ※ 本業務の全てを再委託することは禁止する。
- ※ 仕様書に示す業務 1（産業廃棄物）及び業務 2（一般廃棄物）を再委託することは禁止する（ただし、法令に定める基準に従い振興会から書面による承諾を得て行う場合を除く。）。

別記様式 1

競争参加資格確認申請書

令和 年 月 日

独立行政法人日本芸術文化振興会

理事長 長谷川 真理子 殿

住 所

商号又は名称

代表者役職及び氏名

令和7年12月19日付で公告のありました「令和8年度国立劇場構内の廃棄物収集運搬・処分業務委託」に係る競争参加資格について確認されたく、下記の書類を添えて申請します。

なお、独立行政法人日本芸術文化振興会会計規程第16条及び第17条の規定に該当する者でないこと、更生手続又は再生手続開始の申立てがなされている者ではないこと、取引停止又は指名停止を受けていないこと、入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと及び添付書類の内容については事実と相違ないことを誓約します。

記

1. 入札説明書別紙 記1.(1)～(8)に定める競争参加資格を有することを示す書類
2. 入札説明書別紙 記2.(1)～(3)に定める役務の履行が可能であることを示す書類
3. 入札説明書別紙 記2.(4)に定める役務の履行が可能であることを示す書類（該当する者のみ）

以上

(押印を省略するときは下記に記載すること)

本件責任者(氏 名): _____

担当者(氏 名): _____

責任者連絡先(電話番号): _____

担当者連絡先(電話番号): _____

誓 約 書

当社（個人である場合は私、団体である場合は当団体）は、下記 1 及び 2 のいずれにも該当しません。また、将来においても該当することはありません。この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。また、貴職において必要と判断した場合に、別紙役員等名簿により提出する当方の個人情報を警察に提供することについて同意します。

記

1 契約の相手方として不適当な者

(1) 役員等（個人である場合はその者、法人である場合はその役員又はその支店若しくは営業所（常時契約を締結する事務所をいう。）の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。）が、以下の各号に掲げる反社会的勢力への対応に関する規程（独立行政法人日本芸術文化振興会規程第 4 1 7 号）第 2 条第 1 項のいずれかに該当する者（以下、反社会的勢力という。）であるとき。

（1）暴力団（その団体の構成員（その団体の構成団体の構成員を含む。）が集团的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体をいう。以下同じ。）

（2）暴力団員（暴力団の構成員をいう。以下同じ。）

（3）暴力団準構成員（暴力団又は暴力団員の一定の統制の下にあつて、暴力団の威力を背景に暴力的不法行為等を行うおそれがある者又は暴力団若しくは暴力団員に対し資金、武器等の供給を行うなど暴力団の維持若しくは運営に協力する者のうち暴力団員以外のものをいう。以下同じ。）

（4）暴力団関係企業（暴力団員が実質的にその経営に関与している企業、準構成員若しくは元暴力団員が実質的に経営する企業であつて暴力団に資金提供を行うなど暴力団の維持若しくは運営に積極的に協力し、若しくは関与するもの又は業務の遂行等において積極的に暴力団を利用し暴力団の維持若しくは運営に協力している企業をいう。以下同じ）

（5）総会屋

（6）社会運動等標ぼうゴロ（社会運動若しくは政治活動を仮装し、又は標ぼうして、不正な利益を求めて暴力的不法行為等を行うおそれがあり、市民生活の安全に脅威を与える者をいう。以下同じ）

（7）特殊知能暴力集団（前六号に掲げる者以外のものであつて、暴力団との関係を背景に、その威力を用い、又は暴力団と資金的なつながりを有し、構造的な不正の中核となっている集団又は個人をいう。）

（8）その他前各号に準ずる者。

(2) 反社会的勢力が経営に実質的に関与しているとき。

(3) 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、反社会的勢力を利用するなどしたとき。

(4) 役員等が、反社会的勢力に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的若しくは積極的に反社会的勢力の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき。

(5) 役員等が、反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有しているとき。

2 契約の相手方として不適当な行為をする者

(1) 暴力的な要求行為を行う者

(2) 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者

(3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者

(4) 偽計又は威力を用いて契約担当役等の業務を妨害する行為を行う者

(5) その他前各号に準ずる行為を行う者

令和 年 月 日

独立行政法人日本芸術文化振興会
理事長 長谷川 眞理子 殿

〔住 所〕

（押印を省略する場合は下記に記載すること）

〔商号又は名称〕

本件責任者（氏名）

〔代表者役職及び氏名〕

担 当 者（氏名）

責任者連絡先（電話番号）：

担当者連絡先（電話番号）：

※ 個人の場合は、氏名欄の下に生年月日を記載すること。

※ 法人の場合は、役員の氏名及び生年月日を記載した資料を添付すること。

役員等名簿

商号又は名称			
役 職 名	(フリガナ) 氏 名	生年月日	備 考
	()	年 月 日	
	()	年 月 日	
	()	年 月 日	
	()	年 月 日	
	()	年 月 日	
	()	年 月 日	
	()	年 月 日	
	()	年 月 日	
	()	年 月 日	

(注) 法人の場合、本様式には、登記事項証明書に記載されている役員全員を記入してください。

別記様式 3－①

業務体制表

- ・収集運搬業務について、複数の業者による区間委託を行う場合は、適宜、行を追加して記載すること。
- ・処分業務について、複数の業者により分担して行う場合は、適宜、行を追加して記載すること。
- ・「事業範囲」、「産業廃棄物の種類」及び「許可の条件」欄については、欄内に記載が難しい場合は、「別紙許可証の通り」との記載でも可とする。

競争参加者名
(商号又は名称)

廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず等 、及びそれらの混合廃棄物
--------	---

排出事業者 国立劇場（東京都千代田区隼町 4 番 1 号）



収集運搬業者 1

商号又は名称	代表者氏名	法人所在地			
許可都道府県・政令市	許可の有効期限	事業範囲	許可の条件	許可番号	積替え保管
					有・無
					有・無



収集運搬業者 2 ※区間委託の場合のみ

商号又は名称	代表者氏名	法人所在地			
許可都道府県・政令市	許可の有効期限	事業範囲	許可の条件	許可番号	積替え保管
					有・無
					有・無



収集運搬業者 3 ※区間委託の場合のみ

商号又は名称	代表者氏名	法人所在地			
許可都道府県・政令市	許可の有効期限	事業範囲	許可の条件	許可番号	積替え保管
					有・無
					有・無



処分業者

商号又は名称	代表者氏名	法人所在地			
許可都道府県・政令市	許可の有効期限	事業区分	産業廃棄物の種類	許可の条件	許可番号

(処分施設)

事業場の名称	所在地	処分の方法	施設の処理能力



最終処分

事業場の名称	所在地	処分の方法	施設の処理能力

別記様式3-①

業務体制表

記入例

- ・収集運搬業務について、複数の業者による区間委託を行う場合は、適宜、行を追加して記載すること。
- ・処分業務について、複数の業者により分担して行う場合は、適宜、行を追加して記載すること。
- ・「事業範囲」、「産業廃棄物の種類」及び「許可の条件」欄については、欄内に記載が難しい場合は、「別紙許可証の通り」との記載でも可とする。

競争参加者名
(商号又は名称)

廃棄物の種類	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず等、及びそれらの混合廃棄物
--------	--

排出事業者 国立劇場（東京都千代田区隼町4番1号）



収集運搬業者1

商号又は名称	代表者氏名	法人所在地			
株式会社〇〇〇〇	〇〇 〇〇	〇〇都〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇〇号			
許可都道府県・政令市	許可の有効期限	事業範囲	許可の条件	許可番号	積替え保管
東京都	令和〇年〇〇月〇〇日	別紙許可証の通り	別紙許可証の通り	第*****号	有・無
〇〇〇県	令和〇年〇〇月〇〇日	別紙許可証の通り	別紙許可証の通り	第*****号	有・無



収集運搬業者2 ※区間委託の場合のみ

商号又は名称	代表者氏名	法人所在地			
株式会社〇〇〇〇	〇〇 〇〇	〇〇都〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇〇号			
許可都道府県・政令市	許可の有効期限	事業範囲	許可の条件	許可番号	積替え保管
東京都	令和〇年〇〇月〇〇日	別紙許可証の通り	別紙許可証の通り	第*****号	有・無
〇〇〇県	令和〇年〇〇月〇〇日	別紙許可証の通り	別紙許可証の通り	第*****号	有・無



収集運搬業者3 ※区間委託の場合のみ

商号又は名称	代表者氏名	法人所在地			
株式会社〇〇〇〇	〇〇 〇〇	〇〇都〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇〇号			
許可都道府県・政令市	許可の有効期限	事業範囲	許可の条件	許可番号	積替え保管
東京都	令和〇年〇〇月〇〇日	別紙許可証の通り	別紙許可証の通り	第*****号	有・無
〇〇〇県	令和〇年〇〇月〇〇日	別紙許可証の通り	別紙許可証の通り	第*****号	有・無



処分業者

商号又は名称	代表者氏名	法人所在地			
株式会社〇〇〇〇	〇〇 〇〇	〇〇都〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇〇号			
許可都道府県・政令市	許可の有効期限	事業区分	産業廃棄物の種類	許可の条件	許可番号
〇〇〇県	令和〇年〇〇月〇〇日	中間処理	別紙許可証の通り	別紙許可証の通り	第*****号

(処分施設)

事業場の名称	所在地	処分の方法	施設の処理能力
〇〇〇〇工場	〇〇都〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇〇号	破碎	*** t / 日



最終処分

事業場の名称	所在地	処分の方法	施設の処理能力
〇〇〇〇工場	〇〇都〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇〇号	破碎	*** m ³ / 日
〇〇〇〇センター	〇〇都〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇〇号	焼却	*** t / 日
株式会社〇〇〇〇	〇〇都〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇〇号	破碎	*** t / 日

別記様式4

連絡体制表

- (記入要領)
- ・入札説明書別紙「提出書類について」2.(1)業務体制表(別記様式3ー①～②)に記載した全ての業者に関して、次の事項を一覧に記載すること。
 - ・「商号又は名称」は、略称ではなく、登記上の正式名称を記入すること。
 - ・「本社所在地」は、登記上の所在地を記入すること。なお、登記上の所在地とは異なる地に本社事業所を構える場合は、「備考」に記載すること。
 - ・行数が不足する場合は、適宜追加すること。

競争参加者名 (商号又は名称)							
No.	商号又は名称	代表者氏名	本社所在地	連絡窓口となる部署名	問合せの対応時間	電話番号	備考
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

別記様式4

記入例

連絡体制表

- (記入要領)
- ・入札説明書別紙「提出書類について」2. (1)業務体制表(別記様式3-①～②)に記載した全ての業者に関して、次の事項を一覧に記載すること。
 - ・「商号又は名称」は、略称ではなく、登記上の正式名称を記入すること。
 - ・「本社所在地」は、登記上の所在地を記入すること。なお、登記上の所在地とは異なる地に本社事業所を構える場合は、「備考」に記載すること。
 - ・行数が不足する場合は、適宜追加すること。

競争参加者名
(商号又は名称) 株式会社〇〇〇〇

No.	商号又は名称	代表者氏名	本社所在地	連絡窓口となる部署名	問合せの対応時間	電話番号	備考
1	株式会社〇〇〇〇	〇〇 〇〇	〇〇都〇〇区〇〇〇丁目〇〇番〇〇号	〇〇支店 〇〇部〇〇課	月～金 8:00～18:00	***-***-***	
2	▲▲▲▲株式会社	▲▲ ▲▲	▲▲県▲▲市▲▲町4丁目5番6号	本社 ▲▲部▲▲係	全日 24時間	***-***-***	
3	有限会社◇◇◇◇	◇◇ ◇◇	◇◇県◇◇市◇◇7丁目8番9号	◇◇営業所 ◇◇係	月～土 8:30～17:30	***-***-***	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

独立行政法人日本芸術文化振興会

理事長 長谷川 眞理子 殿

住 所

商号又は名称

代表者役職及び氏名

再委託承認申請書

件名「令和 8 年度国立劇場構内の廃棄物収集運搬・処分業務委託」に関して、委託業務の一部を再委託したく、以下のとおり申請いたします。

上記契約に係る遵守事項を再委託先にも徹底するとともに、再委託先の貴法人に対する一切の行為について最終責任は弊法人が負うことといたします。

また、申請内容に変更が生じた場合は速やかに再申請いたします。

記

再委託の相手方の 商号又は名称、住所	
再委託する理由	受託者では実施できない理由、再委託先が実施することの優位性、合理性及び必要性、再委託する理由を明確に記載すること。
再委託する業務の 範囲	再委託先の実施範囲について明確に記載すること。
再委託の相手方に係る 業務の履行能力、報告 徴収、その他運営管理 の方法履行体制図	作業実績や、特有の資格など。 体制図（添付資料）

以上

（押印を省略する場合は下記に記載すること）

本件責任者（氏名）

担 当 者（氏名）

責任者連絡先（電話番号）

担当者連絡先（電話番号）

質問書

独立行政法人日本芸術文化振興会
理 事 長 長谷川 眞理子 殿

質問者

【 住 所 】
【 商 号 又 は 名 称 】
【代表者役職及び氏名】

【担当部署・担当者名】
【 担 当 者 連 絡 先 】 TEL :
 Mail :

件 名 令和 8 年度国立劇場構内の廃棄物収集運搬・処分業務委託

以下の内容について御回答ください。

No.	該当箇所 資料名・頁・項目	質問事項